

見えない状況の中でこれからも住民が必要とする政策が的確に行われていくよう願っています。

村上 清司 議員

田原本町ふれあい農園ですが、手狭な感じであるので、耕作放棄地が多く出ている中、町で借り上げ区画整理し、町民が農業に少しでも興味を持っていたできるように、土と触れ合う場を提供していただけないのか、確認しました。田原本町の雨水貯留施設整備に関連してですが、2、3年前より奈良県においては県管理の一級河川の草刈り・浚渫工事を施工されており、その施工以降において、河川断面を確保している河川流域で浸水が発生しているのか確認すると、寺川東側においては、浸水は発生していないとの事でありました。

森井 基容 議員

8月定例会において、前回報告させていただいた「田原本町議会基本条例」が開会初日に上程され、賛成多数で可決成立しました。特別委員会において最初からこのテーマなどを担当してきた者として、本町議会も基本法を持つ議会として第一歩を踏み出したことを大変喜んでいきます。これを土台として「議会活動の活性化」、「議員活動の見える化」、「議員

の資質向上」、「議会の情報発信・公開」等を着実に継続して取り組むことにより、進化並びに深化していくことを期待して止みません。

安田 喜代一 議員

委員会では、県から取得した阪手地内の土地に雨水貯留施設を整備する工事について審査しました。本町は、大阪との水運、陸運の要所として商業が栄え、豊かな水源により農業も盛んに行われてきた歴史があります。一方、数多くの河川が縦断する地勢により、多くの水害も経験してきました。近年はゲリラ豪雨など、予測が難しい気象現象も頻発しています。令和4年度中の完成予定とのことで、浸水常襲地域の解消、水害の軽減効果が期待されます。安全で安心して生活できる町の取組みにながると考え賛成し可決されました。

古立 憲昭 議員

議員が担うべき役割と町民の負託に応え、「開かれた議会」「議員活動の活発化」「議員の資質向上」を実現するため、田原本町議会の最高規範として、田原本町議会基本条例が提出され可決、検討課題はありましたが一歩前進させるため賛成をしました。決算審査特別委員会より、令和2年度各会計年度の会計決

算の認定が行われ、一般会計で約4億9933万円の黒字、特別会計では問題なく認定しました。その中で児童の見守りでICTを活用した見守りの結果を問う、またがん検診について、奈良県で最低の検診率の要因と対策を問う。

西川 六男 議員

財政事情が厳しい中、今ある財源を中・長期を見通して都市基盤の整備、学校施設の計画的な改築・改修等に優先的に投入すべきである、と提案しています。その都市基盤について①近鉄田原本駅前の東側・北側の整備②近鉄笠縫駅前の整備③国道24号から京奈和道路への庁舎前へ五光温泉前へ保津・宮古道路④ゴミ等の埋蔵物がある事がわかった旧・清掃工場跡地の整備⑤手つかずの旧・第一体育館をどうするのか、質問しました。また、森町長が計画されているFMラジオ放送局の開局について、費用対効果などを質問しました。

吉田 容工 議員

令和元年度に各学校が危険箇所を54箇所洗い出し、教育委員会は27箇所改善したとしています。残っている箇所の対策には、グリーンベルト設置、外側線・学童注意の塗りなおし、ガードパイプ設置など町の権限で

きるものが16箇所も残っていて、令和3年度以降に実施するとしています。ところが、令和2年度決算書には、交通安全対策費予算額1000万円に対し、支出額は600万円少しいた。危険箇所を子どもたちは毎日登下校しています。ゆったり構えていないで、速やかに実施し危険箇所を解消するよう求めました。

植田 昌孝 議員

今回の議会の一般質問では新型コロナワクチン接種について質問。町医師会のご協力や町歯科医師会やリハビリテーションセンター・国保中央病院の先生方の協力で高齢者の接種率が県内でトップとなっている。しかし接種時におけるトラブルもあり今後このような事案が起こらないよう関係団体とは連携を密にし、特に医師会や天理警察署とは日々の連絡を逐次、行うとの答弁がありました。また大和平野中央プロジェクトについては健康増進をテーマとしたスポーツ施設建設後の維持コストの負担については県が負担することを確認しました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催(予定)します。

☎ 議会事務局 ☎ 34・2119

議会 だより

令和3年
第3回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

令和3年田原本町議会「第3回定例会」が8月2日から16日まで15日間の日程で開かれました。開会日には田原本町議会基本条例が上程され、可決。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、8月16日に閉会しました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

・賠償事故に係る損害賠償額の決定について（3件／保険で対応済み）

《可決・認定した議案》

○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第3号）（全員賛成）

補正予算額は1億3577万1000円の増額で、内容は、総務費で

令和2年度決算が確定したことに伴い繰越金の一部を公共施設等整備基金に積み立てるもの。教育費で北中学校の校舎に外壁落下防止ネットを設置するための工事請負費及び森林環境整備促進基金の活用による図書館の木製しおりと木製ブックトラックの購入費。

歳入補正は、繰入金、繰越金及び

町債。

地方債補正は、中学校改修事業として2620万円を追加するもの。

○田原本町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する条例（全員賛成）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、条文の整備を行うもの。

○田原本町手数料条例の一部を改正する条例（全員賛成）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、再発行手数料を徴収する主体が、町から地方公共団体情報システム機構となり、その徴収事務を市町村長に委託することができる旨の規定の 신설に伴い、個人番号カードの再交付手数料の規定を

田原本町議会基本条例を制定

平成30年3月に議会改革特別委員会を設置し、3年5ヵ月にわたり活発な議論を重ねまとめた「田原本町議会基本条例」が賛成多数で可決されました。

この条例は、町民の意思を決定する議事機関として町民に開かれた議会を目指し、町民福祉の向上及び町勢発展に寄与することを目的としています。

条例の主な内容を紹介いたします。詳細は町議会ホームページをご覧ください。



主な内容

▶前文

「町民に開かれた議会」、「議員活動の活発化」、「議員の資質向上」を実現するための取組に邁進することなどを明記しました。

▶第1章 総則

議会及び議員が町民の負託に応え、町民福祉の向上及び町勢発展に寄与することを明記しました。

▶第2章 議会及び議員の活動原則

議会の活動原則と議員の活動原則などを明記しました。

▶第3章 町民と議会との関係

多様な手段を用いて、議会活動に係る広報及び広聴の充実に努めることなどを明記しました。

▶第4章 執行機関と議会との関係

議員と町長等は、常に緊張関係を保持すること、また議会審議の方法などを明記しました。

▶第5章 議会運営

合意形成に向けて、議員相互間の自由な議論の場を設ける運営に努めること、わかりやすい議論に努めることなどを明記しました。

▶第6章 議会機能の充実

議員の政策形成能力などの向上を図るため議会機能の充実強化などを明記しました。

▶第7章 議員の政治倫理、身分及び処遇

▶第8章 最高規範性と見直し手続

町議会では、定期的に議会の運営状況を検証し、必要に応じて改善策を検討していきます。

削除する改正を行うもの。

○田原本町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全員賛成）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴い、家庭的保育事業者等の業務負担軽減等を図る観点から、電磁的記録による諸記録の作成、保存等を認めることとする等の改正を行うもの。

○県水資材置場雨水貯留施設整備工事請負契約締結について（全員賛成）

旧県水資材置場において雨水貯留施設を整備する工事を、契約金額1億2736万3500円で、株式会社北林組（田原本町）と工事請負契約を締結するもの。

○財産の取得について（全員賛成）

消防ポンプ自動車を、取得金額2255万円で、株式会社モリタ関西支店（兵庫県三田市）より取得するもの。

○指定管理者の指定について（全員賛成）

田原本町ふれあい農園の指定管理者に、奈良県農業協同組合（奈良市）を指定し、指定の期間を令和3年10

月1日から令和8年9月30日までとするもの。

○令和2年度田原本町各会計決算の認定について（賛成多数）

地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの。

委員7名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計決算について審査を行いました。（決算の詳細は広報9月号に掲載されています）

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 田部井紀美子氏

任期 令和4年1月1日から

令和6年12月31日

委員会審査の状況

（質疑等から抜粋）



《総務文教委員会》

質問 令和3年度田原本町一般会計

補正予算（第3号）について、北中学校の校舎外壁落下防止ネット設置工事について、ネットは壁だけか、窓にもするのか。また、耐用年数と他の学校も同じ工法で考えているのか。

回答 窓にはネットを設置せず、外壁にぴたっと這うように設置する。最低

10年は持つ。工法の有効性が発揮できる校舎については検討していく。また、他の工法による改修も併せて実施していきたい。

質問 財産の取得について、消防ポンプ自動車は17年経ったので買い替えとのことだが、前の車はどうするのか。機能はどれだけ違うのか。

回答 インターネットオークションで売却したいと考えている。ハイルーフ車のためヘルメットを被ったままでも乗りやすくなった。

《厚生建設委員会》

質問 県水資材置場雨水貯留施設整備工事請負契約締結について、具体的な工事内容、期間、工事中の安全管理はどのように考えているか。

回答 本体工事を2カ年で考えており、令和3年度は、法面が崩れないように矢板で保護しながら掘削工事を行い、あわせて発掘調査を行う。令和4年度は掘削箇所には護岸のコンクリートブロックを積み上げ、池にコンクリートをしてゲートをつけ、溜まった水を排出するポンプを整備する予定。工事箇所には既存のフェンスを使い立入禁止措置を考えている。転落事故のないよう更なる安全強化を図っていきたい。

質問 指定管理者の指定について、ふれあい農園の利用状況は。現在、

秦庄と八尾の2カ所があるが、今後増やす予定はあるか。

回答 過去3年間は、ほぼ埋まっていると聞いている。利用者のニーズがあれば増やしたいと考えているが、民間事業者の動向も注視しながら、慎重に検討していきたい。

《議会改革特別委員会》

検討事項の議論が終了したことから、8月16日に委員会を解散しました。

《まちづくり検討特別委員会》

まちづくりに関して議論を交わしてきましたが、任期満了日をもって委員会は解散となります。

町議会ホームページをご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることができます。



町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

竹邑 利文 議長

今期定例会は、我々町議会議員一同が9月25日に任期満了を迎えることから、8月に開催いたしました。会議では、条例等10の案件を審議し、6名の議員が一般質問を行いました。令和2年度田原本町各会計決算の認定については、決算審査特別委員会（委員7名）を設置し、慎重に審査いたしました。

さて、本紙発行の10月には、本町の未来を託す議員が新たに選挙で選ばれ活動されていることと思います。任期中には多くの皆様からご指導、ご協力を賜りましたこと、議会を代表し厚く御礼申し上げます。

松本 美也子 議員

①「今後の内水対策の取組について」（答）阪手根太地区においては貯留施設等を整備していく「奈良県平成緊急内水対策事業」の適地候補地の追加で阪手児童公園が選定され

ることになり、柳町、西鍵地区においては、周辺の公共施設等を活用した貯留対策の検討を加速し、農業用水利施設の管理についても周知徹底し、早期に安心安全な生活環境の構築に努めたいとの答弁を得る。他に②「災害時に耳の不自由な方、目の不自由な方の視点に立った避難についての現状の取組及び今後の課題について」③「災害安否確認ツール3点の配布について」質問。

小走 善秀 議員

東京オリンピックで、スケートボード競技が初種目となり、日本の若い選手が金銀銅メダルを獲得して本町は早くから、スケートボードパークの建設に取り組み驚かされました。それに続き国体が奈良県で開催され当町では、附属施設の誘致が決定し実現に向け進んでいます。既にある、サッカー場も合わせスポーツの町としても大いに発展するのではと楽しみです。町長から多目的なスポーツ、健康増進施設等を建設整備する旨の回答を得ました。さらなるより良い町づくりを望みます。

藤井 誠人 議員

一般質問3点①「通学路の交通安全について」、有資格者の見地から、実効性のある安全対策を提案。南小

学校通学橋を実際に現地調査し質しました。平野橋の問題点の改善に関する提案、見直しを含め今後検討することを確認。②「高齢者福祉について」、ヘルスケアプロジェクトの推進と、コロナ禍における孤独での心身の健康管理や情報共有が大切な事に対し質しました。③「行財政運営の歳入の確保について、産業構造の強化と税収構造の改革に向けた今後の土地利用のあり方について提案し、「土地利用の推進を図り、対流を起こしていく」と建設的な回答を得ました。

梶木 裕文 議員

一般質問にて、田原本町地域防災計画における災害発生時のさまざまな支援について自治体や関係機関、民間事業者などと協定する災害時相互応援協定について、今後の方向性、現状の満足度等について質問。連携構築から年数がたっているものには協定の見直しの必要性や、災害時に有効となる連携協定を実効的にするために、常日頃からの訓練や定期的な機会を設けるなど、平素からの顔の見える関係の構築の必要性を訴えました。災害時にはスムーズに機能できる災害協定になるよう有効な協定締結に向けて取り組んで頂くことを求めました。

山田 英一 議員

本定例会において、令和2年度田原本町各会計決算が認定されました。一般会計・特別会計を合計した当年度の決算規模は、歳入総額約236億8200万円、歳出総額約225億4600万円、水道事業は、収入約8億3700万円、支出約8億300万円、下水道事業は、収益約10億3800万円、費用総額10億2400万円となっています。いずれも黒字決算ですが、今般コロナ感染症収束の兆しが見えず税収等の歳入確保もあまり見込めない状況が予想される中、現状分析を的確に行い、責務として住みたいまちづくりに尽力しなければなりません。

寺田 元昭 議員

この時期に行われる議会は通常の議案審査に加えて、前年度（令和2年度）の決算認定審査が行われました。決められた予算が効率的に、また有効に使われたか、町にとつてどのような効果をもたらしたかなどのような効果をもたらしたかなどを審査を行いました。また、総務文教委員会では、北中学校の外壁落下防止ネットの設置工事費や公共施設維持管理のための積立、消防ポンプ車の購入などが認められました。新型コロナウイルス感染症の終息がまだ